



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき かつとし ニュース

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674

2010年3月28日 No.701

日本共産党品川区議団ホームページは [共産党 品川](#) [検索](#)



新年度
予算

開発に61億円 目黒駅前 145^{メートル}3棟

「緊急課題」なら認可保育園増設を



昨年4月、認可保育園に申し込んだ子どものうち433人も入園できなかった。今年にはさらに増えそう… 詰め込みは限界！（記事と写真は関係ありません）

品川区の新年度予算案の審議が23日に終了。共産党は一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の各予算に反対。老人保健予算に賛成しました。共産党区議団を代表して私（みやざき）が行った予算案に対する意見表明（要旨）を紹介します。

大型公共事業を優先し医療崩壊、介護難民をつくった自公政権に国民は「ノー」の審判を下しました。区民は区政にもくらしと営業を守る政治の実現を求めています。しかし、新年度予算は巨大ビル建設はさらに拡大するが、区民要望に正面から応えるものになっていません。

第一は「3つの緊急課題」の問題です。

濱野区長は施政方針説明で①地域経済活性化、②保育園の待機児解消、③高齢者の生活支援の3つを緊急課題としてスピードを持って取り組むと強調しましたが、3つとも肝心な問題にできていません。

地域経済の活性化では、商店

街装飾灯の電気代補助2倍化継続、そで看板の無料化、住宅リフォーム助成など前進部分は評価しますが、いま仕事がない金属加工業、ものづくりの生き残りのため、工場家賃や機械リース代など固定費の補助。建設労働者の仕事確保へ簡易な耐震改修への支援を求めます。

保育園入園希望が増えているのに、区は「詰め込み」と民間保育園誘致が中心。区自身が認可保育園を増設するべきです。

高齢者の生活支援では、特養ホームを八潮団地に建設しますが、入所待ちは550人もいます。早急に建設計画を具体化するよう求めます。

第二は、大規模開発を拡大する問題です。

濱野区長は施政方針で開発に一言も説明せず61億円もの巨費投入は認められません。目黒駅前開発は145階の超高層ビル

3棟、1千億円の建設費のうち200億円も税金から補助を予定しています。区が79億円を補助した大崎駅西口中地区の巨大マンションは6割しか売れていないのに大崎駅西口南地区と大崎3丁目、国際自動車跡、北品川などの開発は無謀です。

第三は、異常な「教育改革」の問題です。

区内最初の小中一貫校が計画する8年生(中学2年)対象の3泊4日「勉強合宿」は、全員参加で朝9時から深夜0時まで缶詰で勉強させるといふもの。生徒を競争に駆り立て公教育を变质させるものです。「教育改革」は父母と教師、住民の参加で検証し、見直すべきです。

今年度、現職教師2人が突然死しました。ただでさえ忙しいのに品川の教育改革が追い打ちをかけています。働かせすぎは抜本改善を求めます。

第四は、異常な「貯め込み」と職員削減、外部委託の拡大です。

新年度、5校の給食調理業務を外部に委託、計43校となります。「安ければいい」と際限のない外部委託の拡大と職員削減で基金を650億円も貯め込みました。しかし、ダンピング受注で労働者は低賃金。品川区自ら官製ワーキングプアを作り出し、公共サービスを不安定にしていることは大問題です。

第五は、国保と後期高齢者保険料値上げ、介護サービス抑制です。

国保料は減額措置拡大など改善点もあるものの、年収300万の4人家族で年1万4千円余の値上げ。後期高齢者医療も一人あたり4千円余の保険料値上げです。保険料の値上げを抑え「払いたくても払えない」悪循環を断ち切るべきです。

介護保険は貯金が23億円に増えました。保険料引き下げ、家族がいたら介護が受けられないなどサービス抑制の改善、特養ホーム増設を重ねて求めます。

最後は、非核平和宣言事業のとりくみです。

今年国連でNPT見直し検討会議が開かれます。品川区は非核宣言25周年。あらためて各国政府に核廃絶を訴えること。核廃絶運動を先頭に立ってすすめるよう求めます。

みやざき克俊 区政報告会

党会
産説
共演

- 4月11日(日)Pm1時30分
- ゆたかシルバーセンター
- ぜひご参加ください。

困り
のときは
お気軽に
ご相談ください



みやざき克俊事務所
TEL 378616674
法律相談は毎月開催